


 たきざわ社協だより

福祉おもしろやり



このたび、24時間テレビチャリティー委員会様から、リフト付き福祉車両「日産キャラバン」1台が寄贈されました。1月30日に行われた贈呈式において、(株)テレビ岩手代表取締役社長の榎崎憲二様（写真左）から滝沢市社協佐藤会長へ鍵が手渡されました。寄贈いただいた車両は、滝沢市社協が行う、車いす使用者の外支支援事業に活用します。24時間テレビチャリティー委員会様、また24時間テレビチャリティー募金にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

第 159 号

平成26年3月15日発行

発行／社会福祉法人滝沢市社会福祉協議会

〒020-0654 岩手県滝沢市中鶴飼47番地1

TEL 019-684-1110・FAX 019-684-1121

Eメール info@takizawa-shakyo.or.jp

ホームページ <http://www.takizawa-shakyo.or.jp/>

この広報紙は、共同募金配分金の一部を充てて発行しています。

主な内容

- 地域福祉ゆいづくり事業情報交換会、お互いさまのまちづくり勉強会 …… ②③
- お知らせ・ご案内 …… ④⑤
- 寄附・川柳・親子でスマイル …… ⑥

安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めよう
「地域福祉ゆいづくり事業情報交換会」
「お互いさまのまちづくり勉強会」

少子高齢化が進む中、公的福祉制度・サービスだけでは支援が必要な方の生活を支えることは困難です。

滝沢市は、現在は県内でも若い自治体の一つですが、今後は急速に高齢化が進むと予測されています。また、人口が増加する一方で住民同士のつながりの希薄化が進んでいると危惧されています。こうしたことから「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めていくために、身近な地域の福祉問題を一緒に考え、助け合いの輪を一層広めることを目的に「地域福祉ゆいづくり事業情報交換会」と「お互いさまのまちづくり勉強会」を開催しました。

社会福祉協議会が取り組んでいる「地域福祉ゆいづくり事業」とは

誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて、住民の皆

さんがお互いに助け合いながら地域の課題を解決していただくよう、地区の自治会等が実施主体となり、活動の中心となるリーダー数名を選出して、住民皆さんを巻き込んだ地域福祉活動を企画します。社会福祉協議会では、課題解決に向けた方法や取り組みについてお手伝いを行います。

現在、市内10地区がこの事業に取り組んでおり、ひとり暮らし等高齢者への友愛訪問や草取り・雪かきの支援、毎

「地域福祉ゆいづくり事業」に取り組んでいる地区

- ・北一本木自治会
- ・滝沢ニュータウン自治会
- ・鶴飼温泉自治会（温泉ゆいの会）
- ・篠木自治会（篠木ゆいこの会）
- ・大釜上自治会
- ・小岩井自治会
- ・元村西自治会（ゆいづくりの会滝の沢）
- ・元村中央自治会牧野林地区（牧野林ゆいの会）
- ・大釜南自治会
- ・滝沢パークタウン自治会

日の見守り、福祉マップの作成、高齢者の昼食会など、地域で気になる世帯を近所の皆さんでどのように支えていくか、それぞれの地域の特性を生かしながら活動しています。

「地域福祉ゆいづくり事業情報交換会」

2月24日（月）、ふるさと交流館を会場に、市内10地区で取り組んでいる「ゆいづくり事業」についての情報交換会を開催し、各地区のゆいづくりリーダー、自治会役員等約50人が参加しました。

各地区の代表者が活動内容、成果、今後の課題等について報告し、情報交換を行いました。

各地区から報告された主な

成果課題は次のとおりでした。

- ゆいづくり活動の成果**
- ・福祉マップを作成することで、地区内の要援護者の実態を把握することができ、情報共有を図ることができた。
- ・ひとり暮らし高齢者等を対象にした交流会や友愛訪問活動、雪かき支援等を行い、感謝の言葉をいただいている。
- ・ゆいづくりリーダー同士の「コミュニケーション」が図られ、連帯感が生まれた。

●**今後の課題**

- ・リーダーが高齢化しており若手リーダーの育成が必要。
- ・ゆいづくりのメンバーだけでは限界がある。地域の人

達を活動に巻き込んでいくことが課題。

- ・孤独死の予防に向けて、見守り体制の見直しや閉じこもりがちの方へのアプローチの仕方の検討が必要。

各地区の発表を受けた参加者からは、「ゆいづくりリーダーだけで活動するのは大変。自治会と情報を共有し合い、地域一体となって活動していくことが必要」「福祉に関わる活動を行っている組織や会議がいろいろある。自治会・行政・社協が話し合って、もっと効率的に一元的に活動していけるものがあるのではないか」等の意見が出されました。

ゆいづくり事業に取り組むことで地域の中で支え合い、助け合いの輪がさらに広がり、「ゆい」の心が培われている様子がよくわかりました。

ぜひ、この活動が滝沢市内全域に広がるよう、社会福祉協議会では、今後も「お互いさまのまちづくり」を地域の皆さんと一緒に考えながら取り組みを続けてまいります。





「お互いさまのまちづくり 勉強会」

同じく2月24日の午後には、自治会、ゆいづくり、民生委員をはじめとする地域の福祉関係者約80人の参加のもと、「お互いさまのまちづくり勉強会」を開催しました。今年の勉強会は、「地域の高齢者の生活支援」をテーマに、岩手県立大学社会福祉学部教授の小川晃子氏を講師に迎えて開催しました。

「お互いさまのまちづくり」見守りから生活支援へ」と題した講話の中で、自身が研究開発した家庭の電話機とパソコンを利用した高齢者の安否確認システム「おげんき見守りシステム」について説明。そのシステムを基盤に、川前地区で現在行われている、大学、民生委員、地元の商店や介護事業所、学生ボランティア等がネットワークを組み、それぞれが自分の特徴を生かして安否確認や買い物、除雪、食事の配達、外出支援といった高齢者の生活支援に取り組んでいる事例についてお話しをいただきました。

講話の後は、小川教授の進行によるグループワークを行ないました。高齢者の生活課題とその支援策について、参加者は自由な雰囲気の中で発言し、活発に意見を交わしていました。

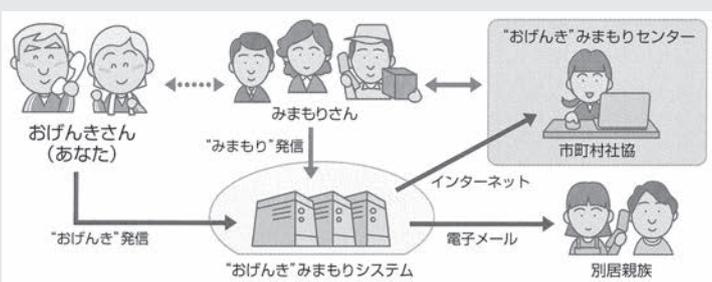
結びに小川教授は、「各地域で行われている高齢者の見守り活動を、あと一歩進めて、普段の暮らしを支える取り組みにチャレンジしてほしい。」「施設や病院は医療機器や職員の巡回で様子を把握し、容

せるまちづくり」見守りから生活支援へ」と題した講話の中で、自身が研究開発した家庭の電話機とパソコンを利用した高齢者の安否確認システム「おげんき見守りシステム」について説明。そのシステムを基盤に、川前地区で現在行われている、大学、民生委員、地元の商店や介護事業所、学生ボランティア等がネットワークを組み、それぞれが自分の特徴を生かして安否確認や買い物、除雪、食事の配達、外出支援といった高齢者の生活支援に取り組んでいる事例についてお話しをいただきました。

状態の変化に応じて必要なケアが行われる。私たちが暮らす地域も同じように、地域の高齢者とながりをもち、生活を見守りながら、可能な範囲でお手伝いを行う。様子に変

いわて「おげんき」みまもりシステム

在宅高齢者の安否確認システムです。高齢者の方が、ご自宅の電話機の番号を押して、「自分から「元気です。」と発信します。発信状況は社会福祉協議会が毎日確認します。発信が確認出来ないなどの異変の際には、状況に応じて民生委員や見守り協力者と連携して安否の確認を行います。



● 利用料

システム利用料は無料です。1回あたりの通話料金10円(月300円程度)は自己負担となります。

● 機械について

現在ご家庭で使用している電話機をそのまま利用します。新たな機器を取り付ける必要はありません。

● 発信方法

- 【1】専用回線に電話。
- 【2】音声に従って自分の健康状態を番号で押します。
- ①元気 ②少し元気 ③悪い ④話したい
- 【3】電話を切ります。
- ③「悪い」を押すと社協から電話します。
- ④「話したい」を押すと社協の事務所に繋がります。

化があれば、福祉関係機関に繋ぐという仕組みを、各地域の特徴を生かして作り上げてほしい。」と話され、勉強会を終了しました。

滝沢市社会福祉協議会

住 所 滝沢市中鶴飼 47-1
 滝沢市老人福祉センター内
 T E L 684-1110 F A X 684-1121
 Eメール: info@takizawa-shakyo.or.jp

お知らせ・ご案内 Information

家族の介護のことでお悩みの方へ 認知症の人と家族の会滝沢「つどい」

認知症の人と家族の会は、ともに励まし合い助け合って、認知症になっても安心して暮らせる社会を目指して活動している全国組織です。

認知症は、本人のケアはもちろんですが、介護にあたっているご家族の心の負担を軽くすることがとても大切です。

家族の会滝沢では、介護者と介護を経験された方々等が集まる「つどい」を定期的で開催しています。「つどい」とは、介護の不安や悩みを語り合い、介護にあたっている方の心の重荷が少しでも軽くなっていたらいいという、みんなで一緒に考える集まりです。認知症介護のことでお悩みの方がいらつしやいましたら、ぜひ一度、参加してみませんか。



認知症の人と家族の会滝沢
 代表の立花美江さん

認知症ケアがいくら充実しても、大切な身内の方が認知症となったときに、家族が抱える辛さや悩みといった心の葛藤は消えることはありません。同じように認

知症に悩む家族同士がじっくり語り合い、同じ思いや悩みを共有しながら癒しと勇気と一緒に見つけましょう。認知症の介護にお悩みのかたは、どうぞ「つどい」にご参加ください。お待ちしております。

認知症の人と家族の会滝沢「つどい」

日 時 毎月第2木曜日13:30~15:30
 会 場 滝沢市老人福祉センター
 参加費 無料・予約不要

ひとり暮らし高齢者さわやか友の会 「新緑を愛でる会」参加者募集

さわやか友の会は、市内にお住まいの65歳以上のひとり暮らし高齢者の方、同居家族がいるが日中お一人で過ごされている方を対象にした任意のグループです。世話人がまとめ役になってグループを運営し、ひとり暮らし高齢者の仲間づくりをすすめています。このたび、春の新緑を楽しむ会を開催します。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。たくさんの方の参加をお待ちしております。

- 日 時 5月23日(金)
- 場 所 鶯宿温泉 偕楽苑
- 参加対象 市内にお住まいの、概ね65歳以上のひとり暮らしの方、日中お一人で過ごしている方
- 参加費 3,500円
- 集 合 滝沢市老人福祉センターを10時に出発
- 申込締切 5月2日(金)まで
- 申込み先

【世話人】浅 利 修 巳: 688-6451
 田 中 ミツ子: 684-4766
 熊 谷 留 三: 687-6501
 滝沢市社会福祉協議会: 684-1110

おいしいお料理を囲んで、和やかにひと時を過ごします。



皆さんでカラオケを楽しみましょう。



●補償金額・掛金

区 分	保険の種類	加入プラン・補償金額	
		Aプラン	Bプラン
怪我等の補償	死 亡	1,200万円	1,800万円
	後遺障害(限度額)	1,200万円	1,800万円
	入院日額	6,500円	10,000円
	通院日額	4,000円	6,000円
	手 術	入院保険日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額を上乗せ	
賠償責任の補償	対人・対物共通(限度額)	5億円	5億円

掛 金	基本タイプ	A 300円	B 450円
	天災タイプ (地震・噴火・津波)	天災 A 460円	天災 B 690円

●補償期間

加入申込手続き完了日の翌日から平成27年3月31日まで

4月1日から補償を開始したい方は、3月28日(金)までに忘れずに加入手続きを完了して下さい。手続きの際には掛金及び代表者(個人の場合は本人)の印鑑が必要です。

ボランティア活動中に「自分がケガをした」「他人にケガをさせてしまった」「他人の物を壊してしまった」ら…。
 そうした場合に備えてボランティア活動保険があります。安心してボランティア活動に取り組めるよう、保険にはぜひ加入しましょう。加入希望の方は社会福祉協議会へお越しください。

平成26年度「ボランティア活動保険」 加入受付中です

お手伝いいただける方募集中！ご協力をお願いします ふれあい送迎サービス運転ボランティア

社会福祉協議会では、車いすを使用しなければ外出できない方々を対象に、通院や買い物などの際に自宅から目的地までの送迎を行う「ふれあい送迎サービス事業」を実施しています。

ただ今、運転ボランティアとしてご協力いただける方を募集しています。週1回でも月1回でも構いませんので、ご協力いただける方は、社会福祉協議会へご連絡願います。

(☎684-1110)



●運転ボランティアの活動内容

リフト付車両の運転と操作、乗降時の車いすの介助

●募集条件

「ふれあい送迎サービス」の趣旨をご理解のうえ活動できる方で、二種免許保持の方、又は一種免許で所定の講習を受講できる方。

- 日 時 5/15、5/22、5/29、6/5、6/12
各回とも13時から17時まで
- 会 場 滝沢市公民館 ホール
- 講 師 傾聴ボランティアもりおか 会長 藤原一高 氏
- 講座内容 講義、ロールプレイ(役割演技)による実習等
- 受講対象 本講座の全日程に参加することが可能な、滝沢市内在住の18歳以上の方で、講座終了後は傾聴ボランティアとして活動する意欲のある方。
- 受講定員 30名 定員を超えた場合は抽選といたします。(落選理由についてのお問い合わせにはお答えできませんのであらかじめご了承下さい。)
- 受講料 無 料
- 申込方法

4月30日(水)までに滝沢市社会福祉協議会へお申込み下さい。申込時に住所、氏名、生年月日、電話番号をお知らせください。FAX、Eメールで申込み際は件名に「傾聴ボランティア講座」と必ず記載して下さい。

私たちの地域には、ひとり暮らし高齢者をはじめとして、身近に話を聞いてくれる方がおらず、悩みや不安、さみしさを抱えながら暮らしている方が少なくありません。
 人の思いや気持ちを聴き、共感してくれる話し相手のボランティアが求められています。
 この講座は、相手のお話をじっくりと聴き喜んでもらう「傾聴」についての基礎知識や技術、心構えを学び、地域や施設で活動する傾聴ボランティアの養成を目的に開催します。

参加者募集 傾聴ボランティア養成講座

ご寄附ありがとうございました

平成26年1月1日から平成26年2月28日まで、次の方々からご寄附いただきました。
《福祉基金》

- 滝沢ライオンズクラブ 様 87,000円
- 滝沢市社会福祉協議会 新年交歓会 21,948円
- はなみずき会 3,000円
- 匿名(二件) 5,000円



滝沢ライオンズクラブ 会計 千田幸一様から佐藤光保 滝沢市社協会長へ寄附金が手渡されました。

「どこに相談すれば良いのかわからない…」とお困りではありませんか?

日常生活での様々な悩み・心配ごとの相談に応じます

くらしの相談所

話を聞いてほしいけど、身近に相談する方がなく、一人で悩んでいませんか? 相談料は無料で秘密は守られますので、お気軽にご利用ください。予約は不要です。
開設日 3月25日(火)、4月8日(火)、4月22日(火)
時間 10時から正午まで
会場 滝沢市老人福祉センター

課題解決に向けて専門家がアドバイスします **法律相談(弁護士)**
相続・登記相談(司法書士)

予約制です。ご予約はお早めに滝沢市社協へお電話を
☎684-1110

【法律相談】

開設日 4月15日(火) (予約締切4/11)
5月20日(火) (" 5/16)
時間 10時から15時まで
会場 スマイル・すまいる(滝沢中央交番隣り)

【相続登記相談】

開設日 4月1日(火) (予約締切3/28)
5月1日(木) (" 4/28)
時間 10時から15時まで
会場 スマイル・すまいる(滝沢中央交番隣り)

福祉柳

課題「輪」

一本木 仙人選

かずかずの 苦難乗り切る

夫婦の輪 小川 裕二(元村)

八十路坂 活動の輪が

狭くなり 久保 武夫(川前)

ボクボクと 孫も話の

輪に入る 山瀬 鐘孝(巢子)

次回課題「恵」

応募先 〒021010六五四 滝沢市中鶴飼四十七ー一

滝沢市社会福祉協議会 「福祉川柳」係りまで

締め切り 四月十五日

投句数 ひとり三句まで

(掲載は五句となります)

※作品を添削する場合があります。

す。氏名には振り仮名を。

《滝沢ニュータウン》

かわ だ 詩 乃 ちゃん(11ヶ月)
川 田 真由美 さん

AQ AQ AQ AQ AQ

お子さんが得意なことはなんですか? よく食べ、よく眠り、よく遊び、よく笑うことです。
どんな大人になってほしいですか? 父親のように大好きなものを好きだと貫き通せる、明るく元気で、素直な人になってほしいです。
子育ての楽しいところはどこですか? 困ってしまっても幸せと感じる事も、全部が楽しいです。
子育てで心掛けていることはなんですか? 子どもの手本となろうよう、親として大人として嘘をつかず恥ずかしくないように接することです。
ご意見・ご要望等をお願いします。
私も子供も「スマイル・すまいる」が大好きです。利用している家族の方、親子サロンのボランティアの方々、ファミリー・サポート・センターのスタッフさん、みんながいつも笑顔で迎えて下さり、不安だった育児休暇を楽しめ充実した日々を送ることができました。これからも地域の交流の場として、沢山の人の笑顔を繋いでください。

おもいやり みんな笑顔の

福祉の輪

仙波 幸泉(川前)

噛み合わせぬ 輪の中酒が

切り盛りし 船場 聖子(川前)